

お茶大での半年間

同徳女子大学
PARKSEOEYON (パクソヨン)
k2590009

私は同徳女子大学で児童学科を専攻してその中で心理ルートを勉強しています。それによりお茶大では心理学科所属として来るようになりました。履修した授業の中、専攻授業を5つ聞きました。心理学には元々興味がありましたが母国の学校ではあくまでも児童学科であって心理学科ではなかったの、心理学の授業をたくさん聞ける良い機会でした。専門用語や漢字がたくさん出てくる専攻授業を母国語ではない言語で聞くのは簡単ではありませんでしたが、復習や予習をしたり、授業にもっと集中することで克服することができました。

記憶に残ってる授業は「日本事情演習2A」と「司法心理学」です。「日本事情演習2A」は日本文化と社会に対する情報を学ぶことができたし、他の学生たちと話しながら楽しい雰囲気が進んでいた授業で本当に良かったです。そして「司法心理学」は私がもともと学びたかった犯罪心理学分野の授業で望んでいた学びを得ることができて良かったです。



近くには丸ノ内線と有楽町線が通っていて、池袋、銀座、渋谷などの繁華街が簡単に行けたし、時間を作って埼玉や川越など東京近郊にも旅行に行ってみることができましたが、自分の体力不足と元々持っている持病で多くの所を回ることができなくて残念な気持ちが残っています。

合格も予想できず急いで来た交換留学生なので奨学金ももらえなくて経済的にお金を節約して使うことに精一杯でした。経済的な余裕があったり、もしくはせっかくの機会なので、なるべくお金のことは心配をせずに経験できることを全部やってみるのが良いのではないかと思います。

最後に、日本での生活を楽しく過ごせるように手伝ってくださった皆さんに感謝を伝えます。まず、交換留学生の準備期間から全般的にすべての部分を支援してくださった国際科の方々、専攻科目の履修を許可してくださった専攻科目の先生の方々に感謝いたします。そして私の指導教授になっていただいて毎月振り返りレポートを送ると長文で親切にお返事してくださった平野先生にも感謝します。最後に交換学生期間を楽しく過ごせた最大の理由である友達みんなにも感謝の気持ちを伝えます。ありがとうございました。

